令和５年度　シラバス

社会福祉士養成通信課程（一般）

学校法人北杜学園

仙台医療福祉専門学校

目　　次

医学概論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
心理学と心理的支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
社会学と社会システム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
社会福祉の原理と政策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
社会福祉調査の基礎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
ソーシャルワークの基盤と専門職・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）・・・・・・・・・・・・・・・・　７
ソーシャルワークの理論と方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
ソーシャルワークの理論と方法（専門）・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
地域福祉と包括的支援体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
福祉サービスの組織と経営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
社会保障・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
高齢者福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
障害者福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
児童・家庭福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
貧困に対する支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
保健医療と福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
権利擁護を支える法制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
刑事司法と福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
ソーシャルワーク演習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
ソーシャルワーク演習（専門）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２
ソーシャルワーク実習指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４
ソーシャルワーク実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
医学概論	山崎壮一郎
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年 12 月～令和６年１月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和６年１月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。
２．健康・疾病の捉え方について理解する。
３．人の身体構造と心身機能について理解する。
４．疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解する。
５．公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。

【授業内容の概要】

１．ライフステージにおける心身の変化と健康課題
２．健康及び疾病の捉え方
３．身体構造と心身機能
４．疾病と障害の成り立ち及び回復過程
５．公衆衛生

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
最新社会福祉士養成講座　第１巻　医学概論（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

<table>
<tr><th>科　目　名</th><th>授　業　担　当　者</th></tr>
<tr><td>心理学と心理的支援</td><td>早坂文彦</td></tr>
<tr><th>時　間　数</th><th>授　業　形　態</th></tr>
<tr><td>９０　時間</td><td>通　　信</td></tr>
<tr><th>学習の時期</th><th>レポート課題の回数</th></tr>
<tr><td>令和５年６月～７月</td><td>１回</td></tr>
<tr><th>レポート課題の提出期限</th><th>添削の時期</th></tr>
<tr><td>令和５年７月末日</td><td>提出から３ヶ月以内</td></tr>
<tr><td colspan="2">【授業の目的・ねらい】
１．人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。
２．人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。
３．日常生活と心の健康との関係について理解する。
４．心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">【授業内容の概要】
１．心理学の視点
２．人の心の基本的な仕組みと機能
３．人の心の発達過程
４．日常生活と心の健康
５．心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本</td></tr>
<tr><td>【使用テキスト・参考文献】
最新社会福祉士養成講座　第２巻　心理学と心理的支援（中央法規）</td><td>【認定の方法】
課題レポートにより評価する。</td></tr>
</table>

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
社会学と社会システム	小久保嘉代
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年 10 月～11 月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和５年 11 月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】
１．現在社会の特性を理解する。
２．生活の多様性について理解する。
３．人と社会の関係について理解する。
４．社会問題とその背景について理解する。

【授業内容の概要】
１．社会学の視点
２．社会構造と変動
３．市民社会と公共性
４．生活と人生
５．自己と他者

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
最新社会福祉士養成講座　第３巻　社会学と社会システム（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
社会福祉の原理と政策	武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
１８０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年５月～10 月	２回
レポート課題の提出期限	添削の時期
１回目　令和５年６月末日 ２回目　令和５年 10 月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。

２．社会福祉の歴史的展開の課程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。

３．社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。

４．福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉施策の課程を結び付けて理解する。

５．福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。

６．福祉サービスの供給と利用の課程について理解する。

７．福祉施策の国際比較の視点から、日本の福祉施策の特性について理解する。

【授業内容の概要】

１．社会福祉の原理

２．社会福祉の歴史

３．社会福祉の思想・哲学、理論

４．社会問題と社会構造

５．福祉施策の基本的な視点

６．福祉政策におけるニーズと資源

７．福祉施策の構成要素と過程

８．福祉施策の動向と課題

９．福祉施策と関連施策

１０．福祉サービスの供給と利用過程

１１．福祉政策の国際比較

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
最新社会福祉士養成講座　第４巻　社会福祉の原理と政策（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
社会福祉調査の基礎	小久保嘉代
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年 12 月～令和６年１月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和６年１月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．社会福祉調査の意義と目的について理解する。
２．社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。
３．社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する。
４．量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
５．質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
６．ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。

【授業内容の概要】

１．社会福祉調査の意義と目的
２．社会福祉調査における倫理と個人情報保護
３．社会福祉調査のデザイン
４．量的調査の方法
５．質的調査の方法
６．ソーシャルワークにおける評価

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　第５巻　社会福祉調査の基礎（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
ソーシャルワークの基盤と専門職	武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年７月～８月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和５年８月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。
２．ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。
３．ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。

【授業内容の概要】

１．社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ
２．ソーシャルワークの概念
３．ソーシャルワークの基盤となる考え方
４．ソーシャルワークの形成過程
５．ソーシャルワークの倫理

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　第11巻　ソーシャルワークの基盤と専門職（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年９月～１０月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和５年１０月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。
２．ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。
３．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。
４．総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。

【授業内容の概要】

１．ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲
２．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク
３．総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　第11巻　ソーシャルワークの基盤と専門職（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
ソーシャルワークの理論と方法	武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
１８０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年６月～１０月	２回
レポート課題の提出期限	添削の時期
１回目　令和５年７月末日 ２回目　令和５年１０月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。
２．ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。
３．ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。
４．コミュニティワークの概念とその展開について理解する。
５．ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。

【授業内容の概要】

１．人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク
２．ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ
３．ソーシャルワークの過程
４．ソーシャルワークの記録
５．ケアマネジメント
６．集団を活用した支援
７．コミュニティワーク
８．スーパービジョンとコンサルテーション

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　第１２巻　ソーシャルワークの理論と方法（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
１８０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和６年４月～７月	２回
レポート課題の提出期限	添削の時期
１回目　令和６年５月末日 ２回目　令和６年７月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。

２．支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。

３．社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。

４．個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。

【授業内容の概要】

１．ソーシャルワークにおける援助関係の形成

２．ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発

３．ネットワークの形成

４．ソーシャルワークに関連する方法

５．カンファレンス

６．事例分析

７．ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　専門科目第６巻　ソーシャルワークの理論と方法（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
地域福祉と包括的支援体制	武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
１８０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和６年６月～８月	２回
レポート課題の提出期限	添削の時期
１回目　令和６年７月末日 ２回目　令和６年８月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。
２．地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。
３．地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。
４．地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。
５．包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解する。
６．地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。

【授業内容の概要】

１．地域福祉の基本的考え方
２．地域行財政システム
３．福祉計画の意義と種類、策定と運用
４．地域福祉の変化と多様性・複雑化した地域生活課題
５．地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制
６．地域共生の実現に向けた多機関協働
７．災害時における総合的かつ包括的な支援体制
８．地域福祉と包括的支援体制の課題と展望

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　第６巻　地域福祉と包括的支援体制（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
福祉サービスの組織と経営	鈴木宏之
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年６月～７月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和５年７月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．ソーシャルワークにおいて必要となる、福祉サービスを提供する組織や団体の概要について理解する。

２．社会福祉士に求められる福祉サービスの組織と沿革、経営の視点と方法を理解する。

３．福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論、労働者の権利等について理解する。

４．福祉サービスに求められる福祉人材マネジメントについて理解する。

【授業内容の概要】

１．福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割

２．福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論

３．福祉サービス提供組織の経営と実際

４．福祉人材のマネジメント

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
最新社会福祉士養成講座　専門科目第１巻 福祉サービスの組織と経営（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
社会保障	武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
１８０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年７月～令和６年３月	２回
レポート課題の提出期限	添削の時期
１回目　令和５年８月末日 ２回目　令和６年３月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。
２．現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。
３．社会保障制度の財政について理解する。
４．公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。
５．社会保障制度の体系と概要について理解する。
６．諸外国における社会保障制度の概要について理解する。

【授業内容の概要】

１．現代社会における社会保障制度の現状（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。）。
２．社会保障の概念や対象及びその理念
３．社会保障の財源
４．社会保険と社会扶助の関係
５．公的保険制度と民間保険制度の関係
６．社会保障制度の体系
７．諸外国における社会保障制度

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　第７巻　社会保障（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
高齢者福祉	佐藤正宏、武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和６年７月～３月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和６年８月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。

２．高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。

３．高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。

４．高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

【授業内容の概要】

１．高齢者の定義と特性

２．高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境

３．高齢者福祉の歴史

４．高齢者に対する法制度

５．高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割

６．高齢者と家族等に対する支援の実際

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
最新社会福祉士養成講座　専門科目第２巻 高齢者福祉（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
障害者福祉	村上　仁
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年１２月～令和６年１月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和６年１月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。

２．障害者福祉の歴史と障害者観の変遷、制度の発展過程について理解する。

３．障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。

４．障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

【授業内容の概要】

１．障害概念と特性

２．障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境

３．障害者福祉の歴史

４．障害者に対する法制度

５．障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割

６．障害者と家族等に対する支援の実際

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
最新社会福祉士養成講座　第８巻　障害者福祉（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
児童・家庭福祉	鈴木宏之
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年７月～８月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和５年８月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．児童が権利の主体であることを踏まえ、児童・家庭及び妊産婦の生活とそれを取り巻く社会環境について理解する。
２．児童福祉の歴史と児童観の変遷や制度の発展過程について理解する。
３．児童や家庭福祉に係る法制度について理解する。
４．児童や家庭福祉領域における支援の仕組みと方法、社会福祉士の役割について理解する。
５．児童・家庭及び妊産婦の生活課題を踏まえて、適切な支援のあり方を理解する。

【授業内容の概要】

１．児童・家庭の定義と権利
２．児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境
３．児童・家庭福祉の歴史
４．児童・家庭に対する法制度
５．児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割
６．児童・家庭に対する支援の実際

【使用テキスト・参考文献】

最新社会福祉士養成講座　専門科目第３巻
児童・家庭福祉（中央法規）

【認定の方法】

課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
貧困に対する支援	鈴木宏之
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年７月～８月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和５年８月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．貧困や公的扶助の概念を踏まえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境について理解する。

２．貧困の歴史と貧困観の変遷について理解する。

３．貧困に係る法制度と支援の仕組みについて理解する。

４．貧困による生活課題を踏まえ、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

【授業内容の概要】

１．貧困の概念

２．貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境

３．貧困の歴史

４．貧困に対する法制度

５．貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割

６．貧困に対する支援の実際

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
最新社会福祉士養成講座　専門科目第４巻 貧困に対する支援（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
保健医療と福祉	鈴木宏之
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和６年４月～５月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和６年５月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．ソーシャルワークの実践において必要となる保健医療の動向を理解する。
２．保健医療に係る政策、制度、サービスについて理解する。
３．保健医療領域における社会福祉士の役割と、連携や協働について理解する。
４．保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

【授業内容の概要】

１．保健医療の動向
２．保健医療に係る政策・制度・サービスの概要
３．保健医療に係る倫理
４．保健医療領域における専門職の役割と連携
５．保健医療領域における支援の実際

【使用テキスト・参考文献】

最新社会福祉士養成講座　専門科目第５巻
保健医療と福祉（中央法規）

【認定の方法】

課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
権利擁護を支える法制度	鈴木宏之
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年 12 月～令和６年１月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和６年１月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】

１．法に共通する基礎的な知識を身につけるとともに、権利擁護を支える憲法、民法、行政法の基礎を理解する。

２．権利擁護の意義と支える仕組みについて理解する。

３.権利が侵害されている者や日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。

４．権利擁護活動を実践する過程で直面しうる問題を、法的観点から理解する。

５．ソーシャルワークにおいて必要となる成年後見制度について理解する。

【授業内容の概要】

１．法の基礎

２．ソーシャルワークと法の関わり

３．権利擁護の意義と支える仕組み

４．権利擁護活動で直面しうる法的諸課題

５．権利擁護に関わる組織、団体、専門職

６．成年後見制度

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　第９巻　権利擁護を支える法制度（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
刑事司法と福祉	鈴木宏之
時　間　数	授　業　形　態
９０　時間	通　　信
学習の時期	レポート課題の回数
令和６年５月～６月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和６年６月末日	提出から３ヶ月以内

【授業の目的・ねらい】
１．刑事司法の近年の動向と制度の仕組みを理解する。
２．刑事司法における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割について理解する。
３．刑事司法の制度に関わる関係機関等の役割について理解する。

【授業内容の概要】
１．刑事司法における近年の動向とこれを取り巻く社会環境
２．刑事司法
３．少年司法
４．更生保護制度
５．医療観察制度
６．犯罪被害者支援

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
新社会福祉士養成講座　第10巻　刑事司法と福祉（中央法規）	課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
ソーシャルワーク演習	鈴木宏之、武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
８１　時間	通信及び面接
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年５月～６月	１回
レポート課題の提出期限	添削の時期
令和５年６月末日	提出から３ヶ月以内
面接授業の回数	―
５日（ソーシャルワーク演習（専門）と合わせて）	―

【授業の目的・ねらい】

１．ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。

２．ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解する。

３．ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。

４．ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。

【授業内容の概要】

１．自己覚知

・自己理解と他者理解

２．基本的なコミュニケーション技術

・言語的技術（質問、促し、言い換え、感情の反映、繰り返し、要約等）

・非言語技術（表情、態度、身振り、位置取り等）

３．基本的な面接技術

・面接の構造化

・場の設定（面接室、生活場面、自宅等）

・ツールの活用（電話、e-mail 等）

４．ソーシャルワークの展開過程

事例を用いて、次に掲げる具体的なソーシャルワークの場面と過程を想定した実技指導を行う。

・ケースの発見

・インテーク

・アセスメント

・プランニング

・支援の実施

<table>
<tr><td colspan="2">・モニタリング
・支援の終結と事後評価
・アフターケア
５．ソーシャルワークの記録
・支援経過の把握と管理
６．グループダイナミクスの活用
・グループワークの構成（グループリーダー・コリーダー・グループメンバー）
・グループワークの展開過程（準備期・開始期・作業期・終結期）
７．プレゼンテーション技術
・個人プレゼンテーション
・グループプレゼンテーション</td></tr>
<tr><td>【使用テキスト・参考文献】
最新社会福祉士養成講座　第１３巻　ソーシャルワーク演習（中央法規）</td><td>【認定の方法】
課題レポートにより評価する。</td></tr>
</table>

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
ソーシャルワーク演習（専門）	鈴木宏之、武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
３２４　時間	通信及び面接
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年７月～令和６年７月	４回
レポート課題の提出期限	添削の時期
１回目　令和５年８月末日 ２回目　令和５年１２月末日 ３回目　令和６年３月末日 ４回目　令和６年６月	提出から３ヶ月以内
面接授業の回数	―
５日（ソーシャルワーク演習と合わせて）	―

【授業の目的・ねらい】

１．ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。

２．社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。

３.支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解する。

４.地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。

５．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。

６．実習を通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解する。

７．実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。

【授業内容の概要】

１．次に掲げる具体的な事例等を活用し、支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得する。

・虐待（児童・障害者・高齢者等）
・ひきこもり
・貧困
・認知症
・終末期ケア

・災害時
・その他の危機状況にある事例

２．１に掲げた事例等を題材として、次に掲げる具体的なソーシャルワークの場面及び過程を想定した実技指導を行う。

・ケースの発見
・インテーク
・アセスメント
・プランニング
・支援の実施
・モニタリング
・支援の終結と事後評価
・アフターケア

３．２の実技指導にあたっては、次に掲げる内容を含める。

・アウトリーチ
・チームアプローチ
・ネットワーキング
・コーディネーション
・ネゴシエーション
・ファシリテーション
・プレゼンテーション
・ソーシャルアクション

４.地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を活用し、次に掲げる事項について実技指導を行う。

・地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握
・地域アセスメント
・地域福祉の計画
・組織化
・社会資源の活用・調整・開発
・サービスの評価

【使用テキスト・参考文献】	【認定の方法】
最新社会福祉士養成講座　専門科目第 7 巻 ソーシャルワーク演習（中央法規）	出席並びに受講態度により評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
ソーシャルワーク実習指導	鈴木宏之
時　間　数	授　業　形　態
２４３　時間	通信及び面接
学習の時期	レポート課題の回数
令和５年 12 月～令和６年７月	３回
レポート課題の提出期限	添削の時期
１回目　令和６年１月末日 ２回目　令和６年３月末日 ３回目　令和６年７月末日	提出から３ヶ月以内
面接授業の回数	―
３日	―

【授業の目的・ねらい】

１．ソーシャルワーク実習の意義について理解する。

２．社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。

３．ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。

４．実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。

【授業内容の概要】

１．実習と実習指導の意義（スーパービジョン含む。）

２．多様な施設や事業所における現場体験学習や見学実習

３．実際に実習を行う実習分野（利用者理解含む。）と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解

４．実習先で関わる他の職種の専門性や業務に関する基本的な理解

５．実習先で必要とされるソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術に関する理解

６．実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解

７．実習記録への記録内容及び記録方法に関する理解

８．実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成及び実習後の評価

９．巡回指導

１０．実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成

１１．実習の評価及び全体総括会について

【使用テキスト・参考文献】 最新社会福祉士養成講座　専門科目第８巻 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（中央法規）	【認定の方法】 課題レポートにより評価する。

令和５年度　社会福祉士養成通信課程（一般）シラバス

科　目　名	授　業　担　当　者
ソーシャルワーク実習	鈴木宏之、武山和弘
時　間　数	授　業　形　態
２４０　時間	実　　習
学習の時期	―
令和５年６月～令和６年９月の間の３０日間	―

【授業の目的・ねらい】

１．ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。

２．支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握する。

３．生活上の課題（ニーズ）に対応するため、支援を必要とする人の内部資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施及びその評価を行う。

４．施設・機関等が地域社会の中で果たす役割を実践的に理解する。

５．総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

【授業内容の概要】

１．利用者やその関係者（家族・親族・友人等）、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成

２．利用者やその関係者（家族・親族・友人等）との援助関係の形成

３．利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）の把握、支援計画の作成と実施及び評価

４．利用者やその関係者（家族・親族・友人等）への権利擁護活動とその評価

５．多職種連携及びチームアプローチの実践的理解

６．当該実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ

７．地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解

８．施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際（チームマネジメントや人材管理の理解を含む。）

９．社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解

１０．ソーシャルワーク実践に求められる以下の技術の実践的理解

・アウトリーチ
・ネットワーキング
・コーディネーション
・ネゴシエーション

・ファシリテーション ・プレゼンテーション ・ソーシャルアクション	
【使用テキスト・参考文献】 最新社会福祉士養成講座　専門科目第８巻 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（中央法規）	【認定の方法】 実習指導者と実習担当教員間にて達成度合いに関する意見交換を実施、最終決定は実習指導者による評価とする。(評価資料として実習記録を参考にする。)